

研究テーマ（主題・副題）

主体的・対話的で深い学びを促すプロジェクト型学習の創造

～思考力・判断力・表現力の育成を目指して～

取り組み内容（案）

- ・単元へのプロジェクト型学習の導入（次年度から新たな年間指導計画（シラバス）の作成）
- ・単元テストの実施を円滑に進め、よりよい評価をできる仕組みをつくる
- ・学び方に重点を置き、学習方法のフレームワークを共有する
（笹トレ、思考ツール、ジグソー法など）
- ・家庭学習の充実のため、個に応じた学習環境づくりとして、「みんなの学習クラブ」の積極的利用
（サクセスシートと家庭学習をリンクさせる）
- ・自主研修（ばんだクラブ）の計画的開催
- ・笹トレの実施（基本的に3人グループでの実施、担当教員のローテーションと評価制度導入）
- ・年2回の授業評価の実施
- ・サクセスシート（振り返り）の実施
- ・1人1授業の実施（公開授業 week を各学期2週間の設置。参観する授業を事前に決めてもらう）
- ・教科部会にて指導案検討 → 研究推進委員会での指導案検討は研究授業のみ
（研推メンバーが参加することもある）

目標（案）

- ・プロジェクト型学習によって、探求的なストーリーを描きながら授業づくりができるようになる
- ・プロジェクト型学習も含め、授業づくりにおいて、「課題設定」と「本質的問い」を大切にする
- ・生徒は自ら課題に向かって必要な学習の手立てを考えるようになり、教師も与えるだけでなく、見守りながらコーチングする力の向上につながる
- ・単元テストの導入によって、生徒は随時学び直しがしやすくなることと、新学習指導要領に向けた評価方法を改善することができる
- ・生徒が自主的に学ぶ仕組みを整えることで、与えられたことをこなす学習習慣から、自己責任で学習する習慣を身につけさせる。